

2024年度 新潟三越伊勢丹支部 春の交渉

3月11日（月）労使協議会を開催し「満額回答」により終結しました

3月11日（月）14:00より、労使協議会が開催されました。

労働組合より、3月8日（金）開催の支部大会において「2024年度春の交渉議案書（案）」が満場一致で可決されたことを報告し、【2024年度賃金要求】をおこないました。その後【賃金要求の根拠と解説】について説明をおこないました。

組合からの要求を受け、牧野社長より、通年協議で詰めてきた内容について労使間に相違がないため、その場での満額回答が出されました。

<会社回答にあたって>

■ 牧野社長のコメント

本日頂きました「要求書内容」については、組合要求通りで即日満額で回答させていただきます。労使で1年間を通じてしっかりと協議できる体制が作られていることの成果と思います。従業員の皆さんと会社が一体となって、前向きな労使関係が構築されていることに感謝申し上げます。

この場を借りて、2023年度を振り返りながらお話をさせていただきます。

2023年度は百貨店の再生を掲げた2年目にあたり、「働きやすく」「働きがいのある」職場環境を作ることに注力してきました。具体的にはコミュニケーションを活性化させるため、「情報開示がされている」「自由闊達に意見が言える」「話し合う場が作られている」状態を作り上げてきました。エンゲージメントに関しても三越伊勢丹グループの地域の百貨店事業会社としてはトップクラスの結果となっています。

そのような中で発生した2024年1月1日の地震に際しては、従業員やお取引先の皆さんの安全を第一に考えた上で、県内唯一の百貨店として、お客さま・地域社会に対して何ができるかを真剣に協議しました。1月2日の正午開店は、もちろん大きな余震などの事態がさらに発生すれば営業中止する前提でしたが、結果的には多くのお客さまがご来店いただくことにもつながりました。それぞれ大変な状況でありながら、それでも皆さんが決断を理解して、前向きに業務にあたってくださいました。本当にありがとうございました。

「要求書」の内容に対して会社として全てお応えできたというのも、日頃からのみなさんのご努力の結果だと思っています。重ねて感謝申し上げます。将来的にはもっともっと従業員の皆さんの努力に報いる形を作っていきたいと考えています。今後もよろしくお願いします。





<会社回答受諾にあたって>

■ 星田委員長のコメント

組合として、満額のご回答をくださったことに感謝申し上げます。メンバーがそれぞれの職場でお客様や同僚のために力を尽くした結果と受け止めております。

今回の春の交渉におけるベースアップは過去最大であり、メイト社員・フェロー社員においては、定期昇給とベースアップの合算によって、2023年暦年の物価上昇率である3.3%を上回る賃上げとなります。改めまして、労働条件向上に対するご理解・対応をいただき、ありがとうございます。

この度の受諾にあたり、2点、お話しさせていただきたいと思います。

一つ目は、本給と採用賃金についてです。新潟における採用競争力を高めていかなければならない中、今年度においてもステージC-7について1,000円増額でご回答いただき、ありがとうございました。一方で、公的最低賃金は急激に上昇しており、現行賃金制度の延長線上だけで考えることが難しく、年収における本給・賞与のバランスなど抜本的に賃金制度を検討していかなければならない段階へとさしかかっていると考えます。

二つ目は、賞与制度についてです。次期2024年度は3か年計画の最終年度となり、私たちは引き続き過去最高益を目指していきます。今後も継続して営業利益実績を塗り替えていくためにも、営業利益目標に対してモチベーションを高く保てるよう仕組みを整えることが必要と考えます。労使一体となって最高益を達成し続けられる、新たな賞与の仕組みを構築していきたいと考えます。

上記2点について労使対話の機会を頻繁に設けながら、次年度協議させていただければと思います。最後に、「従業員満足向上」と「企業利益向上」が相乗効果を生み出すような職場環境を労使一体で整えていくことをお願いし、会社回答受諾の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。



これもちまして、2024年度の春の交渉は終了となります。
多くのメンバーのみなさまよりご協力いただき、ありがとうございました。